

2019 年度国際的研究活動促進研究費研究成果報告

情報理工学研究科 (D2)

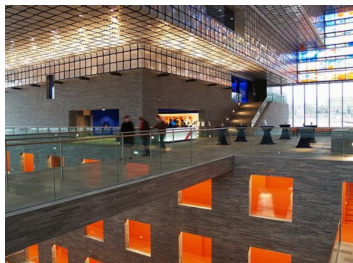
WANG Jiayun

活動要約:

「人文系デジタルアーカイブのためのパーソナライズ化に関する研究」というテーマを持って、オランダの Hilversum にある Netherlands Institute for Sound and Vision

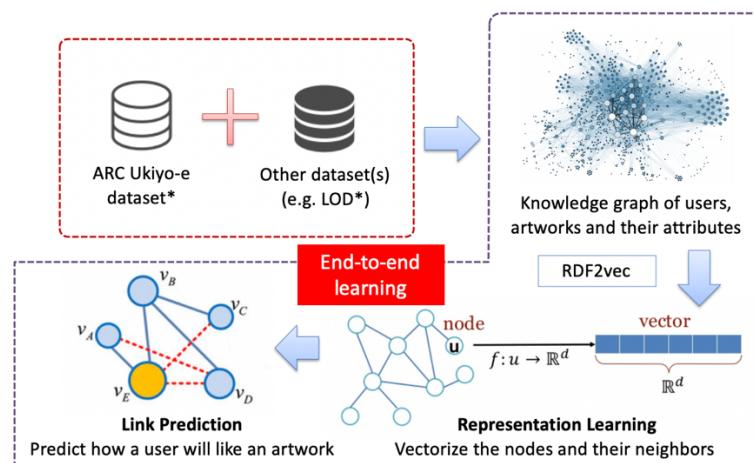
(NISV) とアムステルダムにある Vrije Universiteit Amsterdam (VU) を訪問した。NISV では指導者 Oomen 氏と打ち合わせし、研究紹介とデジタルアーカイブ (DA) におけるパーソナライズ化について交流をした。VU は、本研究に利用する技術に関連する研究グループの会議に参加し、セマンティック Web テクノロジーの最新の研究動向、進捗状況、ボトルネックについて勉強できた。また、個別相談で研究内容について議論をし、さまざまな意見やアドバイスを得ることができ、共同研究の可能性も探った。

1. NISV, Hilversum



NISV はヨーロッパ最大の音 (sound) とビデオ (vision) を保存するアーカイブであり、同じ建物内にオフィスと博物館の両方がある。オフィスでは 1898 年からの資料を保存しつつ、博物館では訪問者に、DA に保存されている内容をクリエイティブでパーソナライズされた方法で展示する。これは DA を活性化させるための非常に良い事例である。

2. VU, Amsterdam



既存の DA におけるユーザが閲覧したアイテムの関連性を正確に推測できないという問題を解決するために、この研究では linked open data を使用してアイテムを関連付け、次にニューラルネットワークを使用してユーザ行動を学習する方法を提案した。これまでの研究では、2 段階のトレーニング用ベクトルの取得に起因する誤差があったが、議論して新しく提案した方法では、2 つの部分を接続できる RDF2vec の方法を用いることで、トレーニングの誤差を排除できると考えられる。